

### "へのかっぱ精神"で難関突破!





▲ストラップを手に気合をいれる受験生

1月8日、栖本中学校の3年生18人に栖 本まちづくり協議会から、"へのかっぱスト ラップ"が贈られました。これは、地元のか っぱ伝説にちなみ制作されているもので、受 験を"へのかっぱの精神"で力強く乗り越え て欲しいと受験生に渡しているもの。

受け取った生徒は、「受験のときに必ず持 って行って力をもらいたい」と話していまし

# 子どもたちへ一足早いプレゼント

バス停がクリスマス仕様に



▲かわいいバス停に笑顔の児童たち

12月5日、小学生が利用するスクールバ ス乗り場がツリーなどで飾り付けられまし た。有明町上津浦の(自称)おばちゃん3人組 が地域を明るい雰囲気にしようとクリスマス を前に実施したもの。

廃材に描かれたサンタや雪だるまは愛嬌た っぷり。「元気が出て楽しい」と子どもたち にも地域の高齢者にも好評で、「次のイベン トが待ち遠しい」と話していました。

# 宮地岳かかし村 人口増加中!

かかし作りが本格化

毎年3月に開催される「宮地岳かかしまつ り」に向けて準備が進んでいます。1月15 日には、宮地岳地区コミュニティセンターに 住民20人が集まり表情を描く作業が行われ ました。住民交流の場と生きがいにもなって いるかかし作り。年々増え、この春には 470体になるそう。描くときは真剣に、で も出来あがりを見て笑みを見せながら、作業 にあたっていました。



▲それぞれ顔に個性が出ていい



つすえ あきら

本年オープンを予定している宮地岳観光交流 施設の担当として昨年8月に着任しました。 天草への移住は、海のそばの暮らしをイメー ジしていましたが、同地区は山々に囲まれた盆 地で下島のへそ。そんな地域の恒例行事となっ



た「かかし祭り」には今や市内外から多くの人が訪れます。このかかしは、昔 懐かしい農村と人々の温かい触れ合い風景を表現しています。観光交流施設も このコンセプトの下、天草の良さと情報、人情が集まる施設を目指しています。 かかし祭りは、3月29日から5月6日まで開催予定です。 皆さんのお越しをお待ちしています。

▲沿道の花壇に花の苗植え

# プローズ ロ あまくさン

たちが集まれ る場所な

「つわのは 加だったが してスタ 利用者の

が幼少時代に花を摘ん

で遊ん

まる子育て支援

0 口

が

マ

少 数の 参

なっているが

地域 薄

つながり

が

**顔見知りになって** 

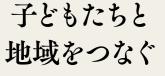
で

人と関わることで

と交流することがでちは自然に地域のよ

れることで子どもた

▲地域の人と餅つき



NPO法人つわの花(有明町島子) 問☎52-0561



にて活動を支えてく と約20人が内容に応 と約20人が内容に応 る。 み会



▲支援センターで童謡教室

35 市政だより 天草 No.298

### 光り輝く教会で聖なる夜を

大江教会でクリスマスイベント



▲子どもたちにはプレゼントも

12月24日、約15万球のクリスマスイル ミネーションが輝きを放つ天草町の大江教会 一帯でクリスマスイベントが開催されまし た。大江地域づくり振興会が実施したもので、 サンタに扮したスタッフが子どもたちヘプレ ゼントを渡し、来場者にはぜんざいでおもて なし。天草ロザリオ館では長崎大学のアカペ ラグループが歌声を披露し、家族連れなどが 聖なる夜を楽しんでいました。

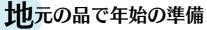
## 笑う"門松"福来たる♪



▲完成した門松に笑顔を見せる児童

12月22日、浦地区コミュニティセンター で「ミニ門松づくり」が行われ、小学生から 高齢者まで45人が参加しました。世代間の 交流を図ろうと同地区振興会が毎年実施して

梅や松の葉などを組み合わせ竹筒に詰める 作業も、楽しく取り組んでいました。みんな で作った"福"のこもった門松は、地区内の 1人暮らし高齢者宅に届けられました。



二汀物産市とみんなのギャラリー



▲つき立て餅が投げられると争奪戦に

12月15日、五和漁村センターで「二江物 産市」があり地元業者らが海産物などを販売 しました。住民に楽しんでもらおうと、二江 まちづくり振興会が主催し、盆栽や手芸作品、 子どもたちの書道などが展示された「みんな のギャラリー」も同時開催。

役員や子どもたちが、早朝から餅をつき、 みんなで丸めた餅約3,500個が投げられる と、住民らは我先にと拾い集めていました。



ようこそ浦河の皆さん河浦へ

▲河浦小学校6年生と記念撮影

1月8日から11日まで、友好交流都市の 北海道浦河町から小中学生9人を含む訪問団 が河浦町などを訪れました。

双方の小中学生が行き来して交流を深めて いるもので、﨑津集落で潜伏キリシタンにつ いて学んだり、ミカン狩り体験、学校で授業 を受けるなどした子どもたち。中学1年生の 岸田理徠くんは、「歴史が好きなので河浦に 来れて良かった」と話していました。

い年に!!

12月28日、牛深漁港後浜荷さばき所で正 月用のタイ、ブリの発送が行われました。

牛深商工会議所でつくる「ハイヤのふるさ と牛深会」が毎年実施しているもので、今年 は2.191件を受注し全国に発送しました。

養殖ブリを1匹ずつ計量し、箱詰めする作 業に追われた養殖業者の沖﨑さんは、「赤潮 が発生し心配もあったが、脂がのったおいし いブリに育った」と話していました。



ス感覚ばっち

12月20日、佐伊津小学校で伝統の竹馬会 があり全校児童が竹馬を楽しみました。 1977年から続いており今年で42回目。

12月からマイ竹馬で朝時間や昼休みに練 習を始め、長縄跳びやサッカーを楽しむ猛者 もいました。最後の参加となった6年生の井 上来翔くんは、「練習してやっと走れるよう になりリレー代表にも選ばれた。楽しい竹馬 会だった」と笑顔を見せていました。

# はまぼう群生地に優しい灯り

竹灯籠イルミネーション



▲竹灯籠の灯りに笑顔を見せる子どもたち

12月21日、新和町のはまぼう群生地駐車 場に竹灯籠が設置され、点灯式が行われまし た。地域にある竹を活用し、気軽に集える憩 いの場を作ろうと大宮地竹灯籠組合が初めて 実施したもの。午前中から設置を始め、点灯 式には雨にも関わらず、約100人が来場。

竹灯籠に明かりが灯されると、歓声があが り辺りは幻想的な雰囲気に包まれました。同 組合の舩元隆成代表は、「若い力で地域を盛 り上げていきたい」と話していました。

### 帰省客を門松がお出迎え

桟橋に門松を飾り付け



▲御所浦漁港の桟橋に門松を設置する住民

12月25日、御所浦漁港本郷桟橋に手作り の門松が飾り付けられました。帰省客などに 新年を気持ちよく迎えてもらおうと、御所浦 地区振興会が毎年行っているもの。

濵本富士隆会長は、「今年も良いものがで きた。島で気持ちよく新年を迎えてほしい」 と笑顔で話していました。横浦漁港・与一ヶ 浦港湾の桟橋にも、各地区の有志が門松を飾 り付け、帰省客らを出迎えました。

36

市政だより 天草 No.298 2020.2